

グリチルリチン酸の分取

Preparative separation of Glycyrrhizinic acid

生薬のカンゾウの主成分であるグリチルリチン酸は、抗炎症作用、抗アレルギー作用が認められ、幅広く使用されています。第十五改正日本薬局方では、カンゾウ末中のグリチルリチン酸の定量法において HPLC が使用され、グリチルリチン酸、パラオキシ安息香酸プロピルの順に溶出し、2 つが完全に分離する ODS カラムの使用が指定されています。今回は第十五改正日本薬局方に準じてカンゾウからの抽出液よりグリチルリチン酸を内径 20 mm の **L-column2 ODS** のセミ分取カラムで分取しました。その結果、高純度のグリチルリチン酸が得られました。

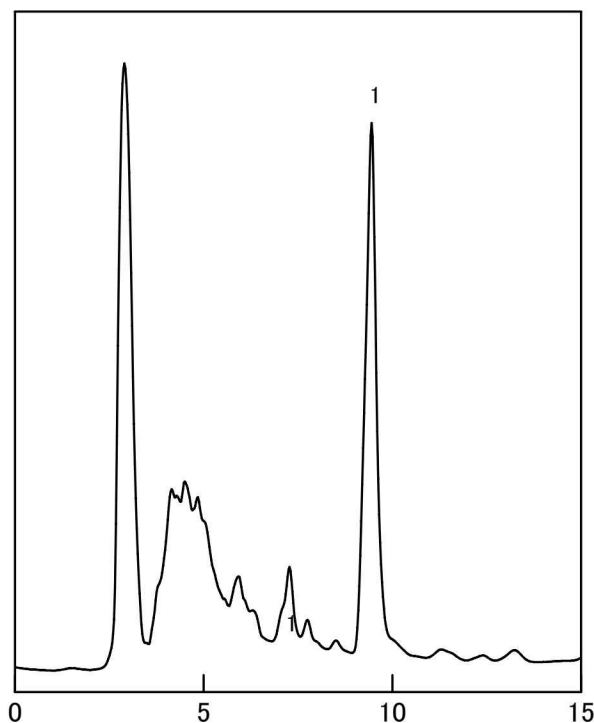


Fig. Chromatogram of Powdered glycyrrhiza.

Glycyrrhizinic acid
(in C₂H₅OH in /H₂O (50/50))

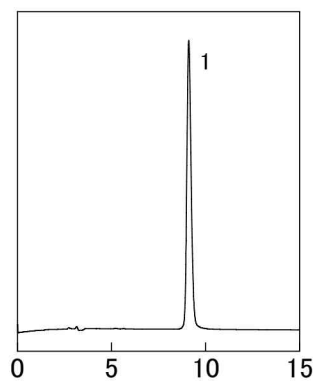
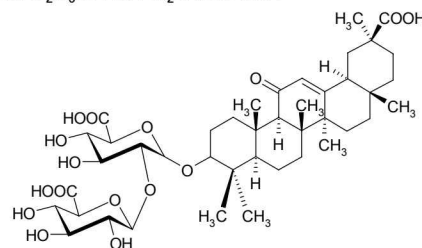


Fig. Chromatogram of Purified glycyrrhizinic acid.

【Analytical conditions】

Column: **L-column2 ODS** (C18, 5 μ m, 12 nm) 20 mm I.D. $\times$ 250 mm L.
Mobile phase: CH₃CN / CH₃COOH (1 $\rightarrow$ 15) (2/3)

Flow rate: 9.5 mL/min
Temperature: Ambient
Detection: UV 254 nm
Injection volume: 2 mL
System: -